

輸出事業計画

※申請者名：津田物産株式会社 品目：米穀（無洗米）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・精米での輸出実績はあるものの、無洗米においては令和 6 年度にアメリカ向け約 1 t、347千円の輸出のみであり、現状無洗米販売は国内向けがほとんど。
- ・取引先からは、FSSC22000(Ver6.0)の取得を求められている。

【課題】

- ・生産者の高齢化、後継者不足により国内需要以上の米生産力が減退しており、新規需要米としての輸出用米の生産拡大の困難化はもとより、一般米穀の価格の高騰により、輸出米製品の拡大、確保が厳しい状況。
- ・国内向けに加え、新たな取引先からの要望量及び衛生管理に対応できるよう、FSSC22000 (Ver6.0)対応の施設整備を行い、認証取得する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

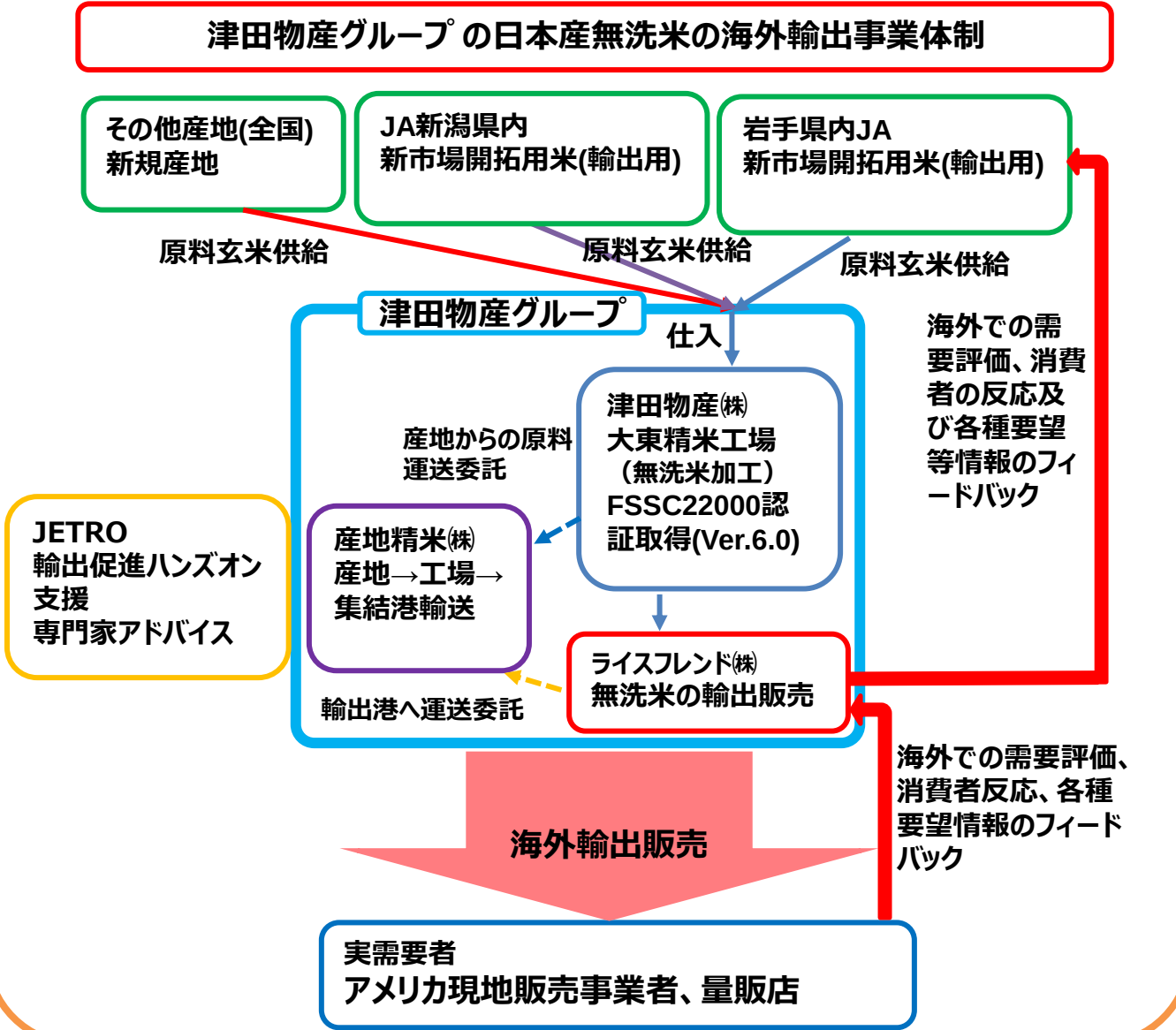
- ・輸出用米製品の拡大・確保のために、生産者にも海外販売先が見える取組を行い、生産の維持拡大の重要性、海外消費者への日本産米(生産者が作った米)が届き、その評価が得られることの重要性を伝え、理解を得ること及び輸出向け日本産米の生産拡大の徹底に努める。
- ・今回HACCPハード事業の活用により施設整備を行い、取引に必要なFSSC22000（Ver6.0）を取得し、衛生・安全管理レベル及び製造効率を向上させるとともに、無洗米の認識・理解レベルの低い海外市場において、日本の無洗米技術の高さ、外食等における効率化への寄与、とぎ汁等の排水のない環境への寄与を普及し輸出拡大を目指す。

輸出事業計画

※申請者名：津田物産株式会社 品目：米穀（無洗米）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

※ 輸出への取組みに理解・賛同いただける産地・生産者に対し、輸出先国、企業情報及び現地での消費者の反応を含めフィードバックを行い、産地から実需まで顔の見える取引関係を構築



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和6年12月期)	【目標】 (令和10年12月期)
輸出額（千円）	347	38,700
輸出量（t）	1	90
輸出先国	アメリカ	アメリカ